

参考資料2-1

■意見対応表(令和6年度第1回常務委員会・都市計画審議会)

	意見者	意見箇所	頁	意 見	対応方針(○済、●未)
○都市計画マスタープラン					
1	石原委員	変化2(キーワード)	序-15	・変化2のキーワードに記載される「防災・減災」は、キーワードとしては範囲が広いので、「強靱化」や「安全・安心なまちづくり」等の方が良いのではないかな。	→ ○以下のとおり修正します。 ・防災・減災 → 安全・安心 ・レジリエンス → レジリエンス(強靱化)
2	澤木会長	変化2～5(引用)	序-15,16	・他のページでも、国から引用した図を掲載しているが、それが市の施策とどう関係しているのかが分かりにくいということだと思う。	→ ○国からの引用については、本市の状況を交えて文章中で表現することとし、本市の事例などの写真に置き換える形に修正します。
3	松本委員	変化2～5(引用)	序-15,16	・現行計画では、コラムという形で概念や制度を紹介されており、本文とは切り分けて掲載するのも1つの方法だと思う。	→ ○同上
4	藤本委員	変化5	序-16	・本文中の「グリーンインフラ」は、大変魅力的で期待できる言葉であるが、本文と国から引用した図の内容があていないように思う。スペースを埋めるために掲載しているのであれば、空白でも良いのではないかな。	→ ○同上
5	長谷川委員	これからの都市づくりの視点(2)⑤	序-22	・「都市の視点」の「○自然と共生する持続可能な都市」の2つ目の文章で、「など」が重複していて読みにくい。	→ ○「脱炭素による環境負荷の低減や地域での生産物や経済の循環など」に修正します。
6	長谷川委員	これからの都市づくりの視点(2)⑤	序-22	・同じ項目で、キーワード内に「都市と農村の共生・対流」とあるが、「交流」という言葉もあるなか「対流」という言葉を使っている意図があれば教えていただきたい。	→ ○「対流」については、国の考えを踏まえ、人や情報などの活発な動きを生み出すことを意図しています。 ○全体の見直しの中で、キーワードを「観光・交流拠点づくり」に変更しました。
7	長谷川委員	都市づくり戦略	第1章の冒頭	・4つの戦略の順番について、戦略1・3が「都市づくり」、戦略2・4が「共創」と番号順になっていないが、番号の付け方に意図があれば教えていただきたい。	→ ○戦略の順番を変更します。
8	松本委員	都市づくり戦略	各章の冒頭	・都市づくり戦略と第2章、第4章との関係性について、「戦略2」は第4章のみ関係する形となっているが、第2章にも関係してくるのではないかな。 ・例えば、「場づくり」であれば、2-10ページの都市施設・市街地整備の方針2-1で、公園など公共空間の整備や、2-11ページの方針2-2で、地域拠点・生活拠点の整備に記載しても良いと思うので、都市づくり戦略と第2章、第4章はあまり明確に分けない方が良いのではないかな。	→ ○戦略が以降の各章と関係する形に修正します。
9	長谷川委員	将来都市構造	2-1,2	・将来都市構造の「市街地ゾーン」で、「山」と「まち」の記載があるが、「山」にも市街地ゾーンがある理由をお教えいただきたい。	→ ○「山」と「まち」の記載を削除します。

■意見対応表(令和6年度第1回常務委員会・都市計画審議会)

	意見者	意見箇所	頁	意 見		対応方針(○済、●未)
10	松本委員	土地利用の方針1-2	2-4	・土地利用の方針1-2で、市街化区域内で居住誘導区域から除外している区域についての記載がないが、何かしらの手立てが必要ではないか。 ・特に、災害リスクが高い区域で、居住誘導区域から除外している区域について、土地利用の考え方を記載する必要はないか。	→	○立地適正化計画(防災指針)と表現を合わせる形で記載します。
11	岡井委員	土地利用の方針1-2	2-4	・土地利用の方針1-2の「居住誘導区域」において、最初に、居住誘導区域としての土地利用の考え方を記載した方が良いのではないか。	→	○立地適正化計画と表現を合わせる形で記載します。
12	岡井委員	交通体系の方針3-3	2-7	・交通体系の方針3-3の本文において、中心部における「人の回遊性向上」と「車の通過交通の抑制」を、より分かりやすく記載してはどうか。茨木市は公共交通による中心部へのアクセス性が高く、中心部への通過交通を減らすことにより、歩行者が車を気にせず歩ける空間づくりに向けた取組を期待している。	→	○戦略1-(2)-②において、中心部のストリートの方向性について記載し、方針3-2-②において、中心部の回遊性、通過交通の抑制について記載することで、都市空間と交通の両面から進めることとします。
13	岡井委員	都市防災の方針4-1	2-9	・都市防災の方針4-1の「都市の防災機能の強化」で、建物の不燃化・耐震化・長寿命化に加えて、最近では水災害に対する「耐水化」の視点も出てきており、「水災害の予防対策」の中で記載してはどうか。	→	○方針4-1-②水災害の予防対策の推進において、「建築物等の浸水対策」を追記します。
14	岡井委員	都市防災の方針4-2	2-9	・都市防災の方針4-1の「水災害の予防対策の推進」で、立地適正化計画に基づく届出制度による居住誘導とあるが、予防対策であれば「誘導」よりも「抑制」の方が良いのではないか。	→	○「立地適正化計画に基づく届出制度による、 <u>災害リスクが低い区域への居住誘導</u> 」に修正します。
15	石原委員	居住環境の方針	2-10	・居住環境の方針のタイトルでは「住み続けやすい」、方針5-①では「住み続けられる」、方針5-2では「住みやすい」となっており、言葉の整合性を図った方が良いのではないか。	→	○方針5-1の方針名を「多様なライフスタイルに応じた良好な居住環境の形成」に修正します。
16	長谷川委員	地域づくりの方針・方針図	3-3～12	・「地域づくりの方針」の図中に方針の番号が振られているが、第2章の方針との関連性がわかりにくい。第2章との関連性がわかりやすくなれば、読み手の理解が深まると思う。また、「地域づくりの方針」の図中に「都市づくりの方針」が載っておらず、各地域のどこに落ちていくのか見えるようにした方が良いと思う。	→	○第1章の都市づくり戦略、第2章の都市づくり方針との関連性を記載します。
17	澤木会長	地域づくりの方針・方針図	3-3～12	・地域の方々が第3章から読んだときに、逆引きして第2章のどこと関連しているのかを分かるようにした方が良いということだと思うので、工夫してみしてほしい。	→	○同上
18	長谷川委員	地域づくりの進め方(1)	4-1	・地域づくりの推進方策の「(1)地域づくりを知るための情報の提供」で、本文や事例を読むと、地域づくりではなく「都市づくりを知るための情報の提供」ではないかと思う。	→	○事例を修正します。

■意見対応表(令和6年度第1回常務委員会・都市計画審議会)

	意見者	意見箇所	頁	意 見		対応方針(○済、●未)
19	澤木会長	地域づくりの進め方(6)	4-7	・「(6)エリアマネジメント導入に向けた仕組み等の検討」とあるが、これからの10年間で、エリアマネジメント組織を立ち上げて実践していくというより、仕組みの検討で留めておくのか。地域の方々が、率先してエリアマネジメントの活動を実践し、それを市が支援していくような記載になると考えているが、どうか。 ・理想の形ではないかもしれないが、地域の活動を市がサポートしていくことが伝わる記載にしていきたい。	→	○「エリアマネジメントの推進」に修正します。
20	石原委員	用語	巻頭、巻末(参考資料)	・専門用語が多いので、現行計画のように用語集を掲載してはどうか。	→	○巻頭部分に市独自の用語の定義を掲載し、巻末に用語集を掲載します。
21	諸橋委員	用語(都市づくり・地域づくり・まちづくり)	巻頭、巻末(参考資料)	・素案の中で「都市づくり」「地域づくり」「まちづくり」という言葉があり、文脈によって使い分けられていると思うが、中には「都市づくり」を「まちづくり」に変えても意味が通じるところもある。先ほど意見のあった、用語集に記載してはどうか。	→	○同上
22	澤木会長	用語(既存ストック)	巻末(参考資料)	・用語の関係で、1-10ページに出てくる「既存施設」と「既存ストック」の違いも整理していただきたい。現行計画における「既存ストック」の説明では、「これまでに整備されてきた市街地やその中の建築物、土地、道路、公園などの都市施設全般のこと」と記載があり、施設のことを指しているの「既存施設」と違いが分かりにくい。	→	○「既存ストック」という表現に統一します。
23	米川委員 (R6-1都計審)	用語(共創)	1-1 4	都市計画マスタープランの現行計画では、目次の直後に「都市づくり」「まちづくり」「都市計画」の用語の定義がされており、今回、大きな変更として「共創」や「地域づくり」といった要素が加わったと感じている。 都市計画の「マスタープラン」であり、受け取る側も同じ方向を向いて、言葉の捉え方や解釈が大きく異ならないように整理していくことが必要と感じている。	→	○共創の考え方については、第1章の市民と共に創るまちの姿の基本理念において整理し、第4章において進め方を記載します。

■意見対応表(令和6年度第1回常務委員会・都市計画審議会)

	意見者	意見箇所	頁	意 見		対応方針(○済、●未)
○立地適正化計画(防災指針)						
1	石原委員	対象とする災害	1	・これまで議論したかもしれないが、ため池の浸水については考慮されないのか。桟池では、5m以上の浸水する区域もあり、防災指針での取り扱いはどのように考えているのか。	→	○ため池ハザードマップについては、ため池決壊時の想定であることと浸水想定区域が局所的であることから、防災指針の対象外としています。なお、マップ自体は個別に周知を図っています。
2	石原委員	リスク評価の視点(2)	9	・「(2)浸水継続時間と避難生活環境(洪水)」で、浸水継続時間72時間(3日)を目安としているが、その根拠としているアンケート結果と健康被害との因果関係がわかりづらい。もう少し出典の内容などを検討できないか。	→	○食料などの備蓄が最低限3日間必要である旨を補足する形にします。
○立地適正化計画(中間検証)						
1	大嶺議員 (R6-1都計審)	評価指標②	9	・公共交通の人口カバー率の中間評価の値が2020年時点の数値となっているが、2020年以降にバスの路線が廃止になっている中で、中間評価の値として妥当なのか。	→	○国勢調査の人口を指標としています。バス路線の状況については、文言として追記します。
2	岡井委員	施策4・取組15(届出制度の検証)	26	・居住誘導区域外での建築等の届出件数について表で整理しているが、件数だけでなく全体としての認識など、評価も含めて記載してはどうか。 ・事前協議で誘導した実績というのは、非常に重要なポイントだと思うので検討いただきたい。	→	○誘導施策の検証における、施策4・取組15の取組実績として掲載し、合わせて評価も記載します。
3	澤木会長	施策4・取組15(届出制度の検証)	26	・「届出が4件のみとなっています」という事実で終わっているの で、評価につながるようなまとめとして記載をしていただきたい。	→	○同上
4	長谷川委員	施策4・取組15(届出制度の検証)	26	・平成31年度から令和5年度以外の年の件数に見えるので、見せ方を工夫した方が良いと思う。	→	○その他の件数の欄を削除し、文章中で説明する形に修正しました。
5	長谷川委員	全体	-	・全体を通して、西暦と和暦が混在しているので、統一するか併記した方が分かりやすい。	→	○基本的に和暦に統一し、可能な限り西暦と併記する形にします。

■意見対応表(委員個別ヒアリング)

	意見者	意見箇所	頁	意 見	対応方針(○済、●未)
○藤本委員					
1	藤本委員 【都市マス】	魅力1	序-10	・山半分・まち半分の地形の「地形」が前から気になっています。「地勢」かなということです。私の手元の辞書では適否判断できません。物的なことより質的・機能的な意味を感じた意見です。	→ ○「地勢」に表現を修正します。
2	藤本委員 【都市マス】	魅力4	序-13	・魅力4に含まれるが、別途追加事項に「文化・史的資源の分布」というのがあるのではないかと。旧街道(町並・本陣)、史蹟(古墳・キリシタン墓跡・竜王社参詣道・環濠集落跡)、文化資源(川端康成文学館・キリシタン資料館・文化財資料館)、市民の文化生活と不可分では？	→ ○都市計画分野を担う計画であることを前提に、魅力4に主な文化資源を追記します。
3	藤本委員 【都市マス】	交通体系の方針 3-1	2-7	・方針3-1取組内容で「○安全な歩行空間確保」の歩道整備について、「ルート連続性の重視」が求められます。思わぬ欠損がみられます。シルバーカー(電動車いす)・キックボード等の交通機器の利用区分の明確化	→ ○総合交通戦略やバリアフリー基本構想等の考え方を踏まえ、様々な交通手段における安全な歩行空間の確保に努めていきます。
4	藤本委員 【都市マス】	全体	-	・引用図式でない茨木市オリジナルのものが多くなっていることに敬意を表します。どうぞ徹底して下さい。	→ ○引き続き心がけていきます。
5	藤本委員 【立適(防災指針)】	取組事例(5)	25	・防災知識の普及啓発で、ハンドブックの作成、ネット閲覧も大切ですが、市民の多くはそれ自体は分かっていると思いますが、実際には対応しにくいのではないのでしょうか。それぞれの居住地周辺の現地見学(ワークショップ)の積み重ねが期待されます。私自身はハザードマップを閲覧し、現地を見に行ったりしています。	→ ○現地見学の重要性等に留意しながら、出前講座や防災教育等に継続して取り組んでいきます。
○福丸委員					
1	福丸委員 【都市マス】	その他	序-7他	JR総持寺、おにクル、ダムパークは現状の写真に差し替えた方が良いと思いました。	→ ○現状の写真に更新します。
2	福丸委員 【都市マス】	その他	-	「つながり」においては、「人と食(農)」があった方が良いと思いました。農業を農家だけに任せっきりにしない共創が必要だと思う。	→ ○都市計画分野を担う計画であることを前提に、農業や観光の視点にも留意しながら、都市づくりに取り組んでいきます。
3	福丸委員 【都市マス】	その他	-	熟読して改めて感じましたが、ビジョンにおいて、産業の切り口ではなく、農と観光が必要なのではないかと感じます。	→ ○同上
4	福丸委員 【都市マス】	魅力4 都市づくり戦略1 (3)	序-13 1-5	忍頂寺スポーツ公園・竜王山荘として宿泊施設である旨がわかるように表記して欲しい。阿武山古墳やキリシタン遺物資料館など歴史的観光資源も表記した方が良いと思いました。	→ ○「忍頂寺スポーツ公園・竜王山荘」という表現に修正します。 ○魅力4に主な文化資源を追記します。
5	福丸委員 【都市マス】	都市づくり戦略3	1-9	見山の郷や竜王山荘を使った多様な「活動」の実践も必要なのではないかと感じました。	→ ○都市づくり戦略1-(1)-①「来訪者と地域住民の交流を促進するための拠点づくり」において検討を進めていきます。
6	福丸委員 【立適(中間検証)】	施策1・取組3	16	公民館のコミセン化を進めていますとの表現が気になりました。議会の議論では、地域事情に応じて推進するところとしないところがあるとの認識です。	→ ○本編の中間見直しにおいて「地域の状況に応じて」進めていますという表現に修正します。